

PAGE 2007に“PDFブレイク元年”をテーマに出展 ～大日本スクリーン製造/メディアテクノロジージャパン出展概要～

大日本スクリーン製造株式会社(本社:京都市上京区)のメディアテクノロジーカンパニー(社長:藤澤 恭平)と、株式会社メディアテクノロジー ジャパン(本社:東京都千代田区/社長:田丸 邦夫)は、2月7日(水)から9日(金)まで、東京・池袋のサンシャインシティコンベンションセンターで開催される展示会「PAGE 2007」に、“PDFブレイク元年”をテーマに出展。当社ブース(文化会館3F展示ホールC No.C-4)において、PDFワークフローのアドバンテージを具現化するソリューションを中心に、ユーザー事例を交えながら具体的にご提案いたします。

今回の出展では、メインプレゼンテーションステージにおいてデジタル検版、レスプルーフワークフロー、オンデマンドデジタル印刷など、興味深いユーザー事例の数々をご紹介するほか、展示スペースとして「Trueflow 3 / 検版ソリューション」「レスプルーフワークフロー」「付加価値創造」「ハイブリッドワークフロー」の4つのコーナーを設置。業界トップシェアを誇る「Trueflow 3」を中核とした、さまざまな印刷需要に柔軟に対応するハイブリッドワークフローのご提案のほか、世界最高速*の生産性を誇るサーマルプレートレコーダー「PlateRite 8800Z」を実機展示します。また、校正回数の削減を実現するレスプルーフワークフローのご紹介のほか、CTP、4,000dpiのハイレゾリューション対応、スクリーニング技術の組み合わせにより、新たな付加価値を創造するさまざまな印刷物をギャラリーに展示。コーナーごとに多彩なプレゼンテーションを繰り広げます。

印刷に使用するフォーマットとしてPDFの利用が確実に増加すると予想される中、当社は今回の「PAGE 2007」において、あらゆる業界のニーズに応えるデジタルソリューションを幅広く展開。JDF/CIP4対応次世代デジタルワークフローシステム「Trueflow 3」を中心に、異なる印刷需要に応じて柔軟にワークフローを使い分けるなど、「Trueflownet (トゥルーフローネット)」の方向性を示します。

<各コーナーの展示概要と主な出展製品>

【Trueflow 3 / 検版ソリューション】

本格的なPDFワークフローの実現に不可欠な、JDF/CIP4対応次世代デジタルワークフローシステム「Trueflow 3 (トゥルーフロー 3)」。

業界トップシェアの座を確立したTrueflow 3のさらなる進化をご紹介します。また、校正紙やフィルムを使わないデジタル検版システム「Riteinspect (ライトインスペクト)」の2サイト運用をはじめ、JDF対応MIS「Riteinfo (ライトインフォ)」の新バージョンなど、ミス、ロス、事故などを防ぎ、短納期、品質の安定、信頼性の向上を実現する、新時代のソリューションをご提案します。

【レスプルーフワークフロー】

RGBベースのPDFワークフローの活用により、デザイン・制作側における色校正回数を削減し、時間やコストの合理化を実現するレスプルーフワークフローをご提案。ご好評を頂いているデジタルカメラ用画像最適化ソフトウェア「Colorgenius DC (カラージーニアス DC)」をはじめ、PDFファイル内のRGB画像に対して高品質な印刷シミュレーションを行うAdobe® Acrobat®用プラグイン「Colorgenius AC (カラージーニアス AC)」、カラー最適化ソフトウェア「Polished Color Server (ポリッシュドカラーサーバー)」、カラープルーフリングシステム「LabProof SE (ラブプルーフ SE)」など、「RIPの透過性」(出力結果の確実性)は言うまでもなく、印刷品質や標準化・合理化を追求する本格的なRGB/PDFワークフローのトータルソリューションをご紹介します。

●本件についてのお問い合わせ先

大日本スクリーン製造株式会社 メディアテクノロジーカンパニー 企画統轄部 商品企画部：
Tel 0774-46-7964 Fax 0774-43-1367 〒613-0034 京都府久世郡久御山町佐山新開地 304-1

【付加価値創造】

AM高精細スクリーニング、AM/FMハイブリッドスクリーニング「Fairdot 2 (フェアドット 2)」、FMスクリーニング「Randot X (ランドット エックス)」などのスクリーニング技術による高精細印刷や、「Spektacolor (スペクタカラー)」による広色域印刷など、新たな付加価値を創造する作品の数々をギャラリー展示。セキュリティー印刷やレンチキュラーなど、4,000dpiならではの作品もご紹介します。また、PlateRiteシリーズの最上位機として高い評価を頂いているPlateRite 8800をさらに進化させたサーマルプレートレコーダーの新製品として、より強力な露光システムにより1時間当たり42版という世界最高速*の生産性を実現した「PlateRite 8800Z (プレートライト 8800Z)」を実機展示します。

【ハイブリッドワークフロー】

オフセット印刷のフローを生かしながら、必要に応じて出力デバイスをPOD (Print On Demand) に切り替える、当社ならではの柔軟な生産環境、ハイブリッドワークフロー。印刷品質を確保しながら、必要部数や納期に応じて効率的にデバイスを使い分ける、最適な出力環境をご提供します。このコーナーでは、プリンターに出力する感覚で、印刷会社の条件に合う確実なPDFの電子送稿を実現し、効率アップや納期短縮を可能にする新製品・PDF入稿システム「Riteportal SE (ライトポータル SE)」をはじめ、CTPやデジタルプレスなど、さまざまな出力条件に柔軟に対応するハイブリッドワークフローの各システムをご提案します。また、ハイブリッドワークフローを活用して印刷した出力サンプルも展示します。

※ 当社調べ

2006年12月14日現在販売されている四六全版に対応したサーマルプレートレコーダーにおいて、世界最高速機となります(プレートサイズ：1,030×800mm、2,400dpi時)。

* Adobe、Acrobatは、Adobe Systems Incorporated (アドビ システムズ社)の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。



PlateRite 8800Z

☆ この画像の印刷用データ (解像度 300dpi) は、下記 URL よりダウンロードできます。
(www.screen.co.jp/press/nr-photo/)

● 本件についてのお問い合わせ先

大日本スクリーン製造株式会社
メディアテクノロジーカンパニー
企画統轄部 商品企画部
Tel 0774-46-7964 Fax 0774-43-1367
〒613-0034
京都府久世郡久御山町佐山新開地 304-1
URL : www.screen.co.jp

株式会社メディアテクノロジー ジャパン
本社
Tel 03-3237-3111 Fax 03-3237-3161
〒102-0074
東京都千代田区九段南2-3-14 靖国九段南ビル
URL : www.mtjn.co.jp